

# 介護ネットみやぎ速報

(第74号 2016. 1. 21)

発行者 NPO法人介護ネットみやぎ

責任者 鈴木 由美

022-276-5202

022-276-5205



## 2015年度「介護保険白書」

### シンポジウム開催しました

2016年1月17日(日)13時30分から、フォレスト仙台2階第2フォレストホールにおいて、介護ネットみやぎ主催、宮城県社会保障推進協議会共催で、2015年度「介護保険白書」シンポジウムを開催し、介護ネットみやぎ参加団体、調査員、関係団体、宮城県議、一般等76人参加しました。

立教大学コミュニティ福祉学部教授芝田英昭(しばた ひであき)さんを迎え、『社会保障改革の現段階と介護保障の今後』について、講演していただきました。

国では、2014年に成立した「健康・医療戦略推進法」の目的に「健康長寿社会の形成に資する新たな産業活動の創出及び活性化、…中略…それを通じた我が国の経済の成長を図る」とこととしました。これは、「健康・医療」分野を経済成長の道具にしようとしているものです。本来、医療や介護は保険で賄われるものですが、この法律では、「お金」で医療や介護を買うことになり、お金のない人は買うことができず、必要な医療や介護が受けられなくなるという状況になりかねません。介護予防では将来的に介護保険からはずし、地域の住民やボランティアによって賄い、自治体の本来の責任を逃れようとしています。

芝田先生の講演では、経済の発展と言いつつ、社会保障が後退されようとしていることや、日本の社会保障は世界の動向に逆行しているなど、国の経済戦略と絡めた鋭い視点のお話をしていただき、参加者からは「とても分かりやすく、いい内容だった」との感想が多く寄せられました。



講師芝田英昭さん



会場の様子

# お知らせ

## 宮城県生活支援コーディネーター 養成研修のご案内

国では2025年に団塊の世代が75歳を迎えることを見据え、地域包括ケア体制の構築を目指しています。また、具体的に地域包括ケアを推進するために重要な役割を担う「生活支援コーディネーター」の自治体への設置の実現を求めています。

生活支援コーディネーターは、地域の実態をよく知る住民や関係者、行政と一緒に話し合う場で、地域の自主的な支え合いを見出し、“見える化”し、住人主体の支え合いを推進する役割です。市区町村域や中学校区域に配置されることが想定されており、宮城県は2015年度に養成研修を実施します。初級研修はまだ受講可能ですので、ご案内します。

詳しくは、添付の「宮城県生活支援コーディネーター養成研修のご案内」をご覧ください。下記申込み先まで直接お申込みください。

### 研修1 初級研修

1月28日(木)【気仙沼会場】気仙沼市民会館

1月29日(金)【大崎会場】古川商工会議所

2月1日(月)【登米会場】登米市登米公民館

2月2日(火)【登米会場】栗原市築館農村環境改善センター

### ■申し込み&お問合せ先

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)

TEL:022-727-8730



# 宮城県 生活支援コーディネーター 養成研修のご案内

生活支援コーディネーターは、市区町村域（第1層）や中学校区域（第2層）に配置されることが想定されており、地域のさまざまな団体や機関における住民・専門職との協働や、配置先の関係者との協働が求められています。こうした特性を活かすため、宮城県では、この研修を生活支援コーディネーターとして配置された人たちのみを対象とするのではなく、住民や専門職も一緒に受講して、チームで暮らしやすい地域づくりが進められる体制づくりを目指します。

★受講必須



## 研修1

【半日研修】

### 初級研修

- 目的と内容：介護保険の改正の趣旨、新しい総合事業と生活支援サービスの体制整備（協議体の設置と生活支援コーディネーターの配置）を含む地域支援事業とは何かを学びます。
- 対象：協議体の構成メンバーや生活支援コーディネーターのほか、自治会・町内会や地区社会福祉協議会のリーダーなど住民、民生委員・福祉委員、行政や地域包括支援センター・社会福祉協議会などの専門機関、居宅介護支援事業所などの事業所や専門職。

★受講選択



## 研修1-2

【2日間研修】

### 「地域福祉コーディネート基礎・実践研修」受講のための事前研修

- 目的と内容：地域福祉コーディネート基礎・実践研修を受講するにあたり、その理解促進のために事前研修を実施します。
- 対象：地域福祉コーディネート業務の未経験者や各種国家資格等の未取得者など。

★受講必須



## 研修2

【2日間研修】

### 地域福祉コーディネート基礎・実践研修

- ◎目的と内容：生活支援コーディネーターの活動の基盤となる地域福祉コーディネートの基礎と実践（コミュニティワークの理解、社会資源の開発など）を学びます。
- ◎対象：研修1と同じ。（生活支援コーディネーターの任にあたる方を優先します）

★受講必須



## 研修3

【2日間研修】

### 生活支援コーディネート基礎・実践研修

- 目的と内容：制度改正の趣旨、協議体の設置と運営、生活支援コーディネーターの役割と具体的な活動、地域資源の把握と開発の方法などを体系的に学びます。
- 対象：研修1と同じ。（生活支援コーディネーターの任にあたる方を優先します）

会場・日時

### 研修1 初級研修

★どの会場でも受講可能

【角田会場】	12月 4日(金)	角田市市民センター	☆研修時間【13:00～16:30】
【石巻会場】	12月 11日(金)	石巻市河北総合センター(ビッグバン)	定員150人
【仙台会場】	1月 8日(金)	仙台市福祉プラザ	※仙台会場のみ定員300人
【気仙沼会場】	1月 28日(木)	気仙沼市民会館	
【大崎会場】	1月 29日(金)	古川商工会議所	
【登米会場】	2月 1日(月)	登米市登米公民館	
【栗原会場】	2月 2日(火)	栗原市築館農村環境改善センター	

### 研修1-2

「地域福祉コーディネート基礎・実践研修」受講のための事前研修

【仙台会場】	12月21日(月)～22日(火)	宮城県自治会館	☆研修時間(両日)【9:30～16:30】
			定員100人

### 研修2

地域福祉コーディネート基礎・実践研修

【仙台会場①】	1月 6日(水)～ 7日(木)	戦災復興記念館	☆研修時間(両日)【9:30～16:30】
【仙台会場②】	1月21日(木)～22日(金)	夢メッセみやぎ	定員100人

### 研修3

生活支援コーディネート基礎・実践研修

【仙台会場】	2月22日(月)～23日(火)	宮城県庁 講堂 宮城県仙台合同庁舎	☆研修時間(両日)【9:30～16:30】
			定員150人

■申し込み&お問い合わせ先 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC):TEL 022-727-8730